

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

1. 市立図書館における子ども読書活動推進

課題 (1) 市立図書館資料の計画的な整備					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(1)-①	児童書および子どもの読書に関する市立図書館資料の整備	枚方市立図書館蔵書計画に基づき、児童書および子どもの読書に関する市立図書館資料を計画的かつ系統的に整備する。	子ども読書活動推進関連資料の収集 団体貸出図書の充実688冊、評価の定まった乳幼児向け図書のさらなる充実4,542冊、ヤングアダルト(※1)向け資料の積極的な収集1,633冊(内456冊は一般書)、その他3,791冊、合計10,654冊(内456冊は一般書) *平成25年度から全館でヤングアダルト図書整備に取り組んだため、全館分の購入整備資料について記載している。		中央図書館
1-(1)-②	児童書の充実	枚方市立図書館資料選書基準等に基づき、児童書の充実を図る。	児童選書基準に基づき、延べ50回選書会議を行い、購入した。 文学3,090冊(内168冊は一般書)、絵本4,600冊、その他3,172冊(内288冊は一般書)、合計10,654冊(内456冊は一般書) *平成25年度から全館でヤングアダルト図書整備に取り組んだため、全館分の購入整備資料について記載している。		中央図書館

課題 (2) 読書に親しむ機会の提供					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(2)-①	乳幼児を対象としたおはなし会の実施(対象:0~2歳児)	中央図書館および地域の図書館や分室において、年間を通して乳幼児を対象としたおはなし会を定例で実施し、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、乳幼児期からの読書に対する周囲の大人の関心を高める。	定例開催 4館7室 延べ182回実施、 子ども921人、大人 873人、合計1,794人参加		中央図書館
1-(2)-②	幼児から小学生を対象としたおはなし会の実施(対象:3歳児以上)	中央図書館および地域の図書館や分室において、年間を通して幼児から小学生を対象としたおはなし会を定例で実施し、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、子どもの読書に対する周囲の大人の関心を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ■定例おはなし会 8館9室 延べ915回実施 子ども3,671人、大人1,277人、合計4,948人参加 ■定例歌と音楽のおはなし会 1館 延べ5回、子ども232人、大人151人、合計383人 		中央図書館
1-(2)-③	子どもの利用促進を目的とした行事の実施	定例のおはなし会以外に、中央図書館および地域の図書館や分室において、講演会・ワークショップ・工作教室・ストーリーテリング(※2)などを実施し、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、子どもの読書に対する周囲の大人の関心を高め、子どもの利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■秋の読書週間 延べ55回、子ども375人、大人187人、合計562人 ■学休期など 延べ205回、子ども3,488人、大人363人、合計3,851人 		中央図書館

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (2) 読書に親しむ機会の提供				
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績	担当課 (関係課)
			平成25年度	
1-(2)-④	「こどもの読書週間(※3)」に合わせた行事の実施	「こどもの読書週間」に合わせ、中央図書館および地域の図書館や分室において催しを実施し、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、子どもの読書に対する周囲の大人の関心を高める。	■「ひらかた絵本まつり」 とき：4/17-5/11 場所：8館8室 延べ25回実施、 内容：読み聞かせなど 子ども237人、大人 65人、合計302人参加	中央図書館
1-(2)-⑤	子どもを対象とした図書館だよりなどの配布	中央図書館および地域の図書館や分室において、図書館職員が薦める図書や新刊図書を掲載した子ども対象の図書館だより・ブックリストを作成・配布し、子どもの読書意欲の喚起を図る。	5館3室 年間延べ41回発行 14,663部配布	中央図書館

課題 (3) 読書に障害のある子どものための条件整備				
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績	担当課 (関係課)
			平成25年度	
1-(3)-①	多様な形式の市立図書館資料の充実 * 1-(1)-①・1-(1)-②と関連	枚方市立図書館蔵書計画および枚方市立図書館資料選書基準等に基づき、漫画・点字資料・大活字資料・デージー(※4) (音声デージー・マルチメディアデージー) 資料など、障害の有無に関わらず情報を得ることができる多様な形式の市立図書館資料の充実を図る。	(受入数) 大活字資料160冊、デージー118冊、点字2冊、手話・字幕付DVD7冊、漫画2,449冊、合計2,736冊 (蔵書数) 大活字資料7,598冊、デージー970冊、テープ1,438冊、点字3,967冊、手話・字幕付DVD78冊、手話・字幕付ビデオ3冊、漫画59,447冊、合計73,501冊 「世界のバリアフリー絵本展2013」について準備を行った。平成26年秋の読書週間に開催予定。	中央図書館 (障害福祉室)
1-(3)-②	日本語を母語としない子どもへの読書支援の実施	枚方市立図書館蔵書計画および枚方市立図書館資料選書基準等に基づき、外国語で書かれた市立図書館資料の充実を図るとともに、多文化理解促進に向けた取り組みを実施する。	平成26年度「多言語おはなし会」開催に向けて準備を行った。	中央図書館

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (3) 読書に障害のある子どものための条件整備					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(3)-③	手話でたのしむおはなし会の実施	手話による絵本の読み聞かせを中心にしたおはなし会を年間を通して定例で実施し、聴覚障害を持つ子どもへの読書活動推進および聴覚障害に対する理解促進を図る。	とき：第4土曜日 延べ12回 場所：中央図書館 参加：子ども174人、大人77人、 合計251人参加		中央図書館 (障害福祉室)
1-(3)-④	病院内でのおはなし会の実施	自動車文庫による病院での訪問おはなし会を年間を通して実施し、市立図書館への来館が困難な子どもへの読書活動推進を図る。	自動車文庫事業の見直しにより25年度は実施しなかった。		中央図書館

課題 (4) ヤングアダルト層の利用促進					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(4)-①	★ヤングアダルト層を対象とした市立図書館資料の充実 *1-(1)-①・1-(1)-②と関連	枚方市立図書館蔵書計画および枚方市立図書館資料選書基準等に基づき、ヤングアダルト層を対象とした市立図書館資料の充実を図る。	中央図書館4階、7分館に「ティーンズコーナー」を増設し、中央は児童書予算の2割、分館は1割を目処にヤングアダルト図書を新たに購入した。文学704冊（内168冊は一般書）、絵本58冊、その他871冊（内288冊は一般書）、合計1,633冊（内456冊は一般書）。		中央図書館
1-(4)-②	★ヤングアダルト層を対象とした行事の実施 *1-(2)-③と関連	中央図書館および地域の図書館や分室において、ワークショップや読書会など、ヤングアダルト層に読書の楽しさを伝える催しを実施し、利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■「こころをつたえよう！朗読大会」 とき：1/26 場所：地域活性化支援センター 参加者31人のうち中学生12人出場。（人数は1-(2)-3に含む） ■「中学生の調べ学習コンクール」 とき：12/7-12/23 場所：中央図書館 出展：中学生231人 参加：942人（出展者含む） ■こども夢基金活用事業 いのちのメッセージ～中高生の課外授業 とき：7/21 7/28 8/4 8/11 12/15 12/22 写真展は8/3-8/11 場所：中央図書館 講師：今西乃子（ノンフィクション作家）、大西暢夫（写真家）、立岩真也（社会学者） 		中央図書館
1-(4)-③	★ヤングアダルト層を対象としたブックリストの配布 *1-(2)-⑤と関連	ヤングアダルト層を対象とした市立図書館職員が薦める図書のリストを作成・配布し、ヤングアダルト層の読書意欲の喚起を図る。	ブックリストを500部作成し、市内公私立高等学校や図書館カウンターで配布した。		中央図書館 (教育指導課)
1-(4)-④	中学校・高等学校図書担当者との情報交換	市内の中学校および高等学校の図書担当者との情報交換を行い、ヤングアダルト層の読書活動推進を図る。	市内公私立中学校・高等学校への中高生向けイベントの案内を学校の協力で全生徒に対して行った。ブックリストの案内を全公私立中学校・高等学校に対して行った。		中央図書館 (教育指導課)

★は特に重点的に取り組む施策

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (5) 学校図書館との連携					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(5)-①	★学校図書館整備への支援	学校図書館の整備にあたって必要な情報提供を行う。	教育指導課との協議5回		中央図書館 (教育指導課)
1-(5)-②	★市立図書館資料の団体貸出の実施	学校図書館機能の補完的役割として市立図書館資料の団体貸出を行い、教科・総合的な学習の時間における調べ学習や朝の読書活動などの実施を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ■読書支援 小学校20校・3,900冊 ■調べ学習 小学校20校・1,924冊 中学校11校・854冊、合計2,778冊 		中央図書館 (教育指導課)
1-(5)-③	★図書に関する情報提供	学校図書館資料選定に向けた情報提供や市立図書館職員が薦める図書リストの配布など、学校図書館資料の充実に向けた支援を行う。	小学校教諭研修会にて、小学生向けのおすすめ本リストの配布、全公私立中学校・高等学校に高校生向けおすすめ本リストの配布を行った。		中央図書館 (教育指導課)
1-(5)-④	学校訪問（おはなし会等）の実施	市立図書館職員が学校を訪問し、おはなし会やブックトーク（※5）などを通して子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、子どもの読書環境整備に対する教諭の関心を高める。	小学校16校に延べ16回実施		中央図書館 (教育指導課)
1-(5)-⑤	市立図書館見学の受け入れ	児童・生徒・教諭に対して市立図書館の役割や使い方などを説明し、読書への関心を高めるとともに市立図書館への理解を促す。	6館で7小学校の見学を受け入れた。		中央図書館 (教育指導課)

★は特に重点的に取り組む施策

課題 (6) 読書ボランティアへの支援					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(6)-①	読書ボランティア養成講座・スキルアップ講座の実施	地域で自主的に活動する読書ボランティアの育成および支援のため、定期的に読み聞かせやストーリーテリングなどの子どもの読書に関する講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ■「読み聞かせボランティア養成講座」 とき：9/4-10/19 場所：楠葉図書館 講師：くずはおはなしを語る会 参加：延べ150人 (内、発表会参加、子ども37人、大人19人、合計56人) ■スキルアップ講座「わらべ歌」 とき：11/11 場所：中央図書館 講師：山本淳子（大阪YWCA講師） 受講者：48人 ■スキルアップ講座「児童文学」 とき：2/7 場所：地域活性化支援センター 講師：土居安子（大阪国際児童文学振興財団） 受講者：52人 		中央図書館

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (6) 読書ボランティアへの支援					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
1-(6)-②	子どもの読書に関する市立図書館資料の充実 *1-(1)-①と関連	枚方市立図書館蔵書計画および枚方市立図書館資料選書基準等に基づき、子どもの読書に関する市立図書館資料の充実を図る。	ボランティア・幼稚園・保育所用行事絵本・紙芝居など団体貸出し用図書を688冊購入		中央図書館
1-(6)-③	読書ボランティア交流会の実施	情報交換の場として、市内で活動する読書ボランティアの交流会を定期的に開催し、活動の充実への支援を図る。	とき：2/7 場所：地域活性化支援センター 内容：活動状況の紹介や課題について意見交換 参加：52人		中央図書館
1-(6)-④	読書ボランティアによるおはなし会などの実施への支援	活動内容への助言など、読書ボランティアが自主的におはなし会などを実施するための支援を行う。	<p>■「ひらかた読書ボランティアのなつやすみおはなし会」開催 とき：7/21-8/25 場所：8館2室 出演：12団体 参加：子ども268人、大人159人、合計427人参加</p> <p>■「ボランティアによるおはなし会」に会場提供 回数：延べ157回 場所：7館4室 出演：11団体 参加：子ども910人、大人675人、合計1,585人参加</p>		中央図書館
1-(6)-⑤	市立図書館資料の団体貸出の実施	おはなし会などの活動に必要な市立図書館資料の団体貸出を行い、読書ボランティアの自主的な活動を支援する。	216団体 40,509冊貸出実施		中央図書館
1-(6)-⑥	図書に関する情報提供	おはなし会などの活動の充実に向けて、市立図書館職員が薦める図書リストの配布や読書相談などを行う。	おすすめ本リスト3種（ブックスタート、幼児から小学生、中学生向け）を配布 特にブックスタート用について、改訂版を発行した。		中央図書館

2. 保育所（園）・幼稚園における子ども読書活動推進

課題 (1) 読書に親しむ機会の提供					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
2-(1)-①	年齢に合わせた絵本の読み聞かせなどの実施	子どもの発達段階に応じた絵本の読み聞かせなどを通して、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、読書に対する子どもの関心を高める。	年齢、発達にあった絵本を選択し、環境設定に配慮し子どもの状態に合わせた読み聞かせを行った。		子育て支援室
			市内全11園において、幼稚園教諭等による読み聞かせなどを実施。		教育指導課

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (1) 読書に親しむ機会の提供					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
2-(1)-②	子どもの読書に関する行事の実施	子どもおよび子どもに関わる大人に対して読書の楽しさや大切さを伝えるための催しを実施する。	保育所だよりや懇談会等で、絵本の大切さを伝えるため保育者対象研修(各園1~2回)を行った。地域の保護者向け研修(読み聞かせ・絵本の魅力等)を実施(地域支援センター3園各2~5回329人)。		子育て支援室
			市内全11園において、社会人活用事業の活用等により、地域人材やPTAの協力で読み聞かせやストーリーテリング等を実施。		教育指導課
2-(1)-③	「こどもの読書週間」に合わせた取り組みの実施	「こどもの読書週間」の周知に努め、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、子どもの読書に対する周囲の大人の関心を高める。	日常的に絵本に触れる機会を作った。(絵本の貸出日(各園・週一回)、図書館利用日(利用園は週1回)、保護者会の図書委員会に参加(各園・年間3~5回)し、図書の充実等保護者と検討した。		子育て支援室
			登園時・降園時に直接保護者に伝えたり、ポスター等の掲示物により、「こどもの読書週間」について周知。(全11園)		教育指導課

課題 (2) 図書、施設等の整備					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
2-(2)-①	絵本コーナーの運営	絵本の充実などを継続的に進め、子どもが本とふれあう機会の拡充を図る。	子ども、保護者、地域の親子に対して、選びやすく見やすい環境設定を工夫し、貸出を行った。		子育て支援室
			絵本コーナーを設置の上、読み聞かせ等、継続的に取り組んだ。(全11園)		教育指導課

3. 学校における子ども読書活動推進

課題 (1) 学校図書館の計画的な整備					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
3-(1)-①	★学校図書館資料の充実	学校図書館図書標準(※6)に基づき、学校図書館資料の充実を図る。	各学校園の図書購入費については、教育総務課が学校規模に応じた額を一般財源で予算化。 <平成25年度決算額> 小学校 約28,207千円 中学校 約17,594千円 幼稚園 約657千円		教育指導課

★は特に重点的に取り組む施策

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (2) 学校教育における読書指導の充実					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
3-(2)-①	★学校図書館を利用した学校教育の充実	学校図書館を活用し、教科や総合的な学習の時間における調べ学習の推進を図る。	教科や総合的な学習の時間における調べ学習等で活用。		教育指導課

★は特に重点的に取り組む施策

課題 (3) 読書に親しむ機会の提供					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
3-(3)-①	朝の読書活動の実施	朝の読書活動を継続して実施することによって、子どもに読書の習慣づけを行う。	一斉読書も含め、市内全小中学校で実施。		教育指導課
3-(3)-②	読み聞かせなどの実施	絵本の読み聞かせなどを通して、子どもに読書の楽しさを伝える。	地域人材等の活用による読み聞かせなどを実施したのは、38小学校・2中学校。		教育指導課
3-(3)-③	児童・生徒を対象とした図書だよりなどの配布	推薦図書などを掲載した子ども対象の図書だよりなどを作成・配布し、子どもの読書意欲の喚起を図る。	図書館だよりについては、30小学校・18中学校で作成し、配付または掲示。全小中学校で読書意欲の喚起を図る広報活動を行った。		教育指導課
3-(3)-④	「こどもの読書週間」に合わせた取り組みの実施	「こどもの読書週間」の周知に努め、子どもに読書の楽しさを伝えるとともに、子どもの読書に対する周囲の大人の関心を高める。	図書館だよりや学校だより、掲示物等により、「こどもの読書週間」について周知。(全小中学校)		教育指導課

課題 (4) 児童・生徒の自主的活動の促進					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
3-(4)-①	図書委員会活動の推進	図書委員会活動を通して、読書に関する児童・生徒の自主的な取り組みを促進し、読書に対する子どもの関心を高める。	全小中学校で図書委員会を組織し、読書活動の推進を図った。		教育指導課

★は特に重点的に取り組む施策

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

4. 地域・家庭における子ども読書活動推進

課題 (1) 読書に関する理解の促進					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
4-(1)-①	枚方版ブックスタート (※7) の実施	1歳の誕生日月の子どもを対象に、保育所(園)で絵本の読み聞かせを行い、絵本を1冊プレゼントする「枚方版ブックスタート」を通して、子どもに絵本の楽しさを伝えるとともに読書に対する保護者の関心を高める。	市内55か所の保育所(園)で実施した。 2,209人。	参加者数	子育て支援室
4-(1)-②	母子保健事業 (※8) における読書活動の推進	母子保健事業のあらゆる機会に、絵本の読み聞かせ等を行うとともに、乳幼児おすすめ絵本リーフレット等を配布し、子どもの読書活動の基盤づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ■妊娠届出時に、絵本に関する内容を盛り込んだ「すくすく子育て手帖」を配付(妊娠届出数 3,242件) ■マタニティスクールにて保育士による絵本の読み聞かせ体験を実施(参加者数120人) ■しっ飼う枚方市立図書館等より提供を受けたリーフレットを4か月児健診受診者に配付(4か月児健診受診者数 3,059人) ■乳幼児健診時の待合室に絵本を設置(乳幼児健診開催回数 179回) ■1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診において、待合の時間を利用して保育士による絵本の読み聞かせや手遊びを実施(年間133回) ■保健センターが菅原生涯学習市民センターとサブリ村野で実施している乳幼児健康相談にて、図書館職員がブックスタート用絵本等の紹介やPRを実施。(乳幼児健康相談利用者数775人) ■子育て講演会にて絵本講師が絵本の大切さを伝えながら絵本の紹介(参加者数49人) 		保健センター
4-(1)-③	留守家庭児童会室における読書活動の推進	入室児童への読み聞かせや市立図書館への訪問などを実施し、子どもが本に触れる機会を増やす。	留守家庭児童会室において、読み聞かせを4回実施。(西長尾・津田南・田口山・春日)		放課後児童課
4-(1)-④	ふれあいルーム (※9) の実施	本とふれあいながら親子の交流を図る「ふれあいルーム」を通して、子どもに絵本の楽しさを伝えるとともに読書に対する保護者の関心を高める。	図書館等8か所で10市民団体が、絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどを実施し、子育て親子の絵本への関心を高めている。全ルームでの参加人数15,036人、開設日数355日		子育て支援室 (中央図書館・生涯学習課)
4-(1)-⑤	子どもの読書に関する講演会や講座の実施*1-(2)-③・1-(6)-①・2-(1)-②と関連	子どもの読書に関する講演会や講座などを実施し、子どもの読書に対する周囲の大人の理解促進を図る。	講師を招き保護者、地域の親向けの研修を開催。絵本の大切さを伝えた。親子で楽しめる絵本の取り組みとして、読み聞かせ等のミニ講座を日常的に行った。		子育て支援室 中央図書館

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

5. 子ども読書活動推進にかかわる人材の育成

課題 (1) 市立図書館における人材の育成					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
5-(1)-①	★あらゆる子どもに読書の楽しさを伝える技術について	職員を対象に、読み聞かせ・ストーリーテリング・ブックトークなど、子どもに読書の楽しさを伝える技術について研修を実施する。	テーマ：手あそびとわらべうた 講師：山本淳子(大阪YWCA) とき：11/11 11/26 場所：中央図書館 参加：39人		中央図書館
5-(1)-②	★子どもの本について	職員を対象に、新刊を含めた出版状況や児童書の選び方などについて研修を実施する。	■テーマ：おはなし会の絵本について 講師：正置友子(絵本研究者) とき：9/24 場所：中央図書館 参加：30人 ■テーマ：児童文学について 講師：土居安子(大阪国際児童文学館) とき：2/7 場所：中央図書館 参加：11人		中央図書館
5-(1)-③	★子どもの発達段階と読書について	職員を対象に、子どもの発達段階に応じた読書について研修を実施する。	テーマ：高校生を対象とした選書について とき：6/1-6/30 場所：各図書館 参加：40人		中央図書館

★は特に重点的に取り組む施策

課題 (2) 保育所(園)・幼稚園における人材の育成					
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績		担当課 (関係課)
			平成25年度		
5-(2)-①	子どもの本について	新刊を含めた出版状況や児童書の選び方などについて研修を実施する。	絵本コーナーで、新刊や年齢に適した絵本を紹介。年齢や発達に応じた絵本の選び方や読み聞かせ方を保護者会、図書委員会、懇談会の場で伝えた。		子育て支援室
			テーマ：司書教諭研修「探究的な学習を進めるために司書教諭としてそのプロセスをどう身につけさせるか。」 講師：湯口香里 (枚方市立第四中学校教諭) とき：6/27 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭61名		教育研修課

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題 (2) 保育所 (園) ・幼稚園における人材の育成				
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績	担当課 (関係課)
			平成25年度	
5-(2)-②	子どもに読書の楽しさを伝える技術について	読み聞かせなど、子どもに読書の楽しさを伝える技術について研修を実施する。	絵本講座で絵本の発達にかかる力、読み聞かせ方などを学んだ。職員間で読み聞かせを行い、相互の技術向上をはかった。	子育て支援室
			(1)テーマ：司書教諭研修「探究的な学習を進めるために司書教諭としてそのプロセスをどう身につけさせるか。」 講師：湯口香里 (枚方市立第四中学校教諭) とき：6/27 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭61名 (2)テーマ：司書教諭研修「学校図書館運営における課題解決にむけた取組について」 実践報告 (グループワーク) とき：10/10 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭62名	教育研修課

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

課題(3) 学校における人材の育成				
体系番号	具体的な施策	取り組みの方向	実績	担当課 (関係課)
			平成25年度	
5-(3)-①	★学校図書館の役割と活用について	学校教育の充実に必要な学校図書館の機能や具体的な活用方法について研修を実施する。	<p>(1)テーマ：司書教諭研修「学校図書館の活用促進に向けた支援の在り方」 講師：三浦久輝(滋賀県湖南市立菩提寺小学校教諭) とき：6/13 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭61名</p> <p>(2)テーマ：司書教諭研修「探究的な学習を進めるために司書教諭としてそのプロセスをどう身につけさせるか。」 講師：湯口香里(枚方市立第四中学校教諭) とき：6/27 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭61名</p> <p>(3)テーマ：司書教諭研修「学習指導と学校図書館」 講師：足立正治(大阪樟蔭女子大学非常勤講師) 氏 とき：8/7 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭62名</p>	教育研修課
5-(3)-②	★司書教諭の役割について	学校において子ども読書活動推進の核となる司書教諭の役割について研修を実施する。	<p>(1)テーマ：司書教諭研修「学校図書館の活用促進に向けた支援の在り方」 講師：三浦久輝 (滋賀県湖南市立菩提寺小学校教諭) とき：6/13 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭61名</p> <p>(2)テーマ：司書教諭研修「学校図書館運営における課題解決にむけた取組について」 実践報告(グループワーク) とき：10/10 場所：枚方市立教育文化センター 参加：全小中学校司書教諭62名</p>	教育研修課

★は特に重点的に取り組む施策

第2次枚方市子ども読書活動推進計画 進捗状況報告

※1「ヤングアダルト」 図書館サービスの対象としてのヤングアダルトは、主に中学生・高校生を指す。身体的・情緒的発達特性を踏まえ、彼らの興味や関心、学習などに関する資料要求に応えるため、図書館サービスの対象分野のひとつとして取り扱うことがある。

※2「ストーリーテリング」 物語を覚えて語ること。「おはなし」ともいう。耳から聞く言葉を通して物語を楽しむことは、活字を読んで具体的にイメージする力を養うことにも結びつく。読書への導入手段としても用いられる。

※3「こどもの読書週間」 昭和34年（1959年）に始まる。もともとは5月1日～14日（こどもの日を含む2週間）。平成12年（2000年）の「子ども読書年」を機に、4月23日～5月12日に期間を延長。子どもの読書振興を目的とする。

※4「デイジー」 Digital Accessible Information System（誰でも使える情報システム）の略称で、スイスに事務局を置く国際非営利団体のデイジー・コンソーシアムが維持・管理の責任を負って無償で提供する国際規格。DAISY規格の特徴は、インターネットのホームページに使用されている国際規格のみを組み合わせ、文字・音声・画像を同期させることによって、様々な障害がある人々と高齢者にも使えるマルチメディア文書を簡単に作り出せる。既存のマルチメディアと違って、見るか、聞くか、指先で読むかのどれかができれば、必要な情報が得られる。（「D I N F 障害保健福祉研究情報システム」HPより）

※5「ブックトーク」 テーマに沿って本を紹介すること。本への興味を喚起する目的を持つ。読書への導入手段として用いられる。

※6「学校図書館図書標準」 公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準を示したもの。文部省 平成5年。

※7「枚方版ブックスタート」 絵本の楽しさや大切さを体験するとともに、親子のふれあいを一層深めてもらう機会として実施。1歳の誕生日の子どもを対象に、保育所（園）で絵本の読み聞かせを行い、絵本を1冊プレゼントする。

※8「母子保健事業」 4か月児、1歳6か月児、2歳6か月児（歯科）、3歳6か月児を対象とした乳幼児健康診査、乳幼児健康相談、子育てに関する講演会など。

※9「ふれあいルーム」 本とふれあいながら親子が交流できる場。子育て経験の豊富な市民スタッフによる絵本の読み聞かせやミニ講座なども行う。